



今月の公開授業

「思考するということ」

辻崎 千尋 1年7組 「国語総合」

4月16日(月)5限目に1-7の「国語総合」で授業を行った。国語における中学校までの勉強法を脱してもらおうべく、また「誰かの解答を待つ」という姿勢を払拭すべく、本時は1時間ずっと「思考する」ということに挑んだ。

(1) 頭の体操①「右」を説明してください。

頭の体操②「美しい」を説明してください。

→出題の意図は、普段何気なく使っている語句の概念を自分の言葉で説明する、ということだ。ちなみに①の解答は「左の逆」「多くの人がお箸を持つ手がある方」では解答にならない。典型的な解答例は「北を向いたときに東にあたる方角」だが、私の好きな解答は「明という漢字の月が位置している側」「アナログ時計の文字盤の3が示す側」など。

(2) 「e (エレクトロニック) スポーツの五輪採用について、賛否を明確にしてあなたの意見を書きましょう」

→これは「天声人語」からの出題。自分の意見を理由と一緒に述べる。その後グループで話し合い、さらにグループの代表者にクラスで30秒で発表させた。「ゲームはスポーツではないという偏見が発展を止める」という意見が印象的だった。

(3) 「教科書の評論文のタイトル『水の東西』はなぜ『東西の水』ではないのか?何が違うのかということを考えてほしい」という問いを生徒に投げかけ、以降の授業につなげた。

「自己管理スケジュール帳」の活用

小原 崇裕 教諭 2年1組

2年前に異動された鈴木聡史先生の意志を継ぎ、小原先生が昨年度からご自身のクラスで継続活用されていた「自己管理スケジュール帳」について「スケジュールの管理と成績には相関関係がありそうだ」とおっしゃっています。今後の有効活用による成績アップの実践報告を期待します! (写真は職員会議での報告)



武高授業改善PT(武高Active)の活動は2年目に突入しました!今年度も昨年に引き続き、「大学入学共通テスト」「新学習指導要領」「ICTの活用」「教科横断型」「第3期SSHとの連携」に向けた授業改善を目的としています。すべては武生高校の生徒のために!

H30 授業改善PTメンバー紹介

顧問:奥村貢(地学) 相道孝志(地歴公民)

リーダー:辻崎千尋(国語) 小原崇裕(物理)

谷口典雄(国語) 山崎泰代(英語) 吉村満美(英語)

五十嵐基博(数学) 松原宏美(保健体育) 高橋真樹子(化学)

野村幸史(数学) 角正康弘(家庭科) 杉坂卓哉(地理)

石田恭子(英語) 鈴木和亮(英語) 谷口溪(化学)

今川大輔(数学) 竹林亜紀(数学) 本田千晶(地学)

河寄美涼(国語) 室井浩貴(世界史) 以上21名

第1回PT会議より

4/16(金)16:40~被服室にて、今年度第1回の授業改善PT会議を行いました。上記メンバーに加えて、進路部長・辻川先生もご参加くださいました。辻崎から授業実践報告のあと、相道先生から「社会を考える~中学校の制服を考える~、~士俵と女性~」「哲学カフェ~名前とは何か~」の授業実践報告がありました。続けて、小原先生から「自己管理スケジュール帳」の活用効果について興味深い報告がありました。(左記参照)その後の研修では、「今年度、授業改善PTを通してチャレンジしたいこと」をテーマにグループごとに議論しました。「ICTを活用した授業をしたい」「以前から温めていた教科横断型授業をしたい」「〇〇先生の授業を参観しにいきたい」などと活発な意見交流がなされました。ぜひ、実践のための一歩を一緒に踏み出していければ、と思っております。

毎月1回の会議は全職員にご連絡します。息抜きする感覚でご参加くださいませ♪

【ひとりごと】昨年度は田中寿和先生が一手に引き受けて下さった通信を、今年度は持ち回りで作成していきます。昨日の職員会議後、小原先生と五十嵐先生とそれぞれ話をされていて「オープンエンド」というキーワードが生まれました。授業でどう活かせるかが今後の課題です!(4月担当 辻崎)